

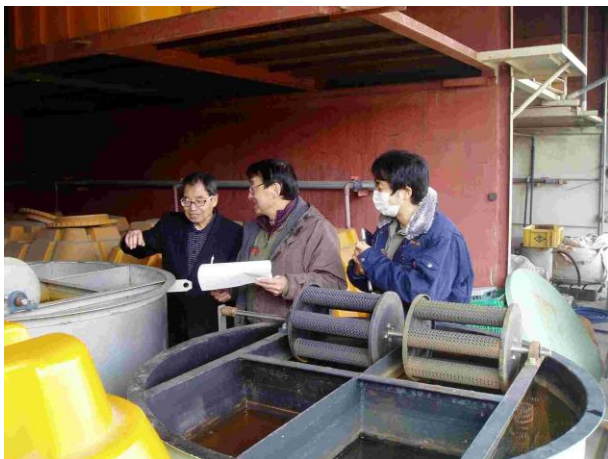
環境技術研究所ニュース：

高橋・武本研究員がヒ素の簡易除去装置を見学調査

2020年1月21日に武本研究員、高橋研究員が、現在途上国で注目されているヒ素の除去装置の調査見学を行いました。四日市市の郊外にある活水プラント社㈱で、プラントメーカーとして小型可搬可能な小規模ヒ素除去装置を開発しています。この装置は地下水や水道水中のヒ素を除去し水質の浄化を行うもので、現在、水道水に人工的にヒ素を投入し、そのヒ素がどうとれるか水質浄化能をテストしています。

この会社では、現在、本装置のテスト実験を継続して行っており、対象国として東南アジア諸国、とりわけ汚染の酷いバングラディッシュなど多数国が想定されます。

分析方法は携帯型のアルシニングガス検知管を用いることとし、測定に協力しています。



現場装置の説明



ヒ素除去装置の設置案平面図

ランニングコストがゼロで、簡単操作のヒ素除去装置

手回し攪拌機を時々回すだけでヒ素が除去できる

素除去装置の特徴

- (1) ヒ素除去装置の運転は、手回し攪拌機を時々回すだけ(1時間に数分の攪拌)
- (2) 電源、薬注装置、制御装置が不要で、素人でも維持管理が容易
- (3) 機器類の取り換えがなく、メンテナンス不要(メンテナンス・フリー)
- (4) 実証試験機で、長期間のヒ素除去を確認済み
- (5) 小型機から大型機まで、あらゆる水質、水量に対応



簡易ヒ素除去装置の説明